

川口市立戸塚西中学校学校便り夏季休業前号外



たいさんぼく

～花と緑と心ふれあう学び舎～

住所:川口市西立野 1000

TEL:048-298-0088 FAX:048-298-0093

令和元年 7 月 1 9 日(金)発行

生 き る 喜 び

校長 中根 隆弘

～戸塚西中学校 第 1 学期終業式 校長式辞より～

今日は、「生きる喜び」というお話をします。たぶん皆さんの中には、普段「生きる喜び」ということについて考えながら生活をしている人はいないと思います。毎朝、決まった時間に登校し、授業があり、部活動があり、家に帰れば、家庭学習があり、人によっては塾があり、中には、ゲームをしないと 1 日が終わらない、という人もいるかもしれませんね。

そんな、日々、忙しい生活を送っている中で「生きる喜び」などということについて、考えようと思っても考える隙間がない、というのが現実だと思います。でも、夏休みになると、少しゆとりが生まれますね。自分の時間も、学校がある時より多く持てると思います。そんな夏休みだからこそ普段は考えないようなことを、この機会に考えてほしいなあと願ってお話します。

生きる喜び

「命は大切であるか？」と尋ねられれば「大切です。」と皆さんは答えるでしょう。私も、きつとそう答えます。でも、本当に大切だと思っているのでしょうか。もしかすると「命は大切」ということを頭で理解しているだけかもしれません。ですから、皆さんには「生きる喜びを心で実感する」夏休みはそんな時期にしてもらいたいのです。

例えば、皆さんのこれまでの人生の中で・・・、

- 人から褒められたり認められたりしたことで、心に強く残っていることはありませんか。
- 学校行事などで、クラスの仲間と心が一つになるような感動的な体験はありませんでしたか。
- 何かの課題に一生懸命に取り組んで「できた！」と思わず叫んでしまう、そのような感激をした体験はありませんか。
- 「人の役に立てた！」と満足できる体験はありませんか。
- 読書や音楽といった趣味の世界に没頭して、自分の時間を心から楽しむ、そのような体験はありませんか。

今、いくつか問いかけをしましたが、何かしら「あるある」と思えたのではないのでしょうか。そして、その「あるある」と思えたことは、皆さん一人一人の心の中に「喜び」として刻まれているはずです。その「喜び」こそが、生きることへの喜びをより深めているのです。

さあ、この夏休み、自分自身の心の中に「喜び」探しの旅に出かけてみてください。たとえ辛いことがあったとしても、その「喜び」をエネルギーにして乗り越えてほしいと願っています。また、この夏休みに新しい「喜び」が心に刻まれる、そんな体験ができるといいですね。

是非、「感動したなあ」「感激したなあ」と心から実感できる体験があったら「生きるっていいなあ、すばらしいなあ。」とつぶやいてみてください。

最後に、なぜ、このようなお話をしたのかについて触れておきます。「顔が下がると面倒になりますよ」と私はよく言っていますが、実は、1 年間の中で、この夏休み明けが最も顔が下がって面倒になりやすい時期なのです。例え面倒になってしまったとしても、何とかそこを乗り越えてほしい、そんな思いで今回「生きる喜び」というテーマで話してみようと思いました。

戸塚西中の先生方の願いは一つです。9 月 2 日の始業式で、またこうして、元気に皆さん一人一人と顔を合わせることです。

改めて、この 1 学期の皆さんの頑張りを称えるとともに、生きる喜びが実感できる夏休みとなり、そして、元気よく 2 学期がスタートできることを祈って、1 学期終業式における式辞といたします。